

CompanyDeck

株式会社 Speee 会社説明資料



Index

01	What's Speee	Speeeとは	P.03
02	Business	Speeeの事業	P.10
03	Culture	Speeeの文化	P.14
04	People	Speeeの人	P.19
05	Environment	Speeeの制度・環境	P.24





Speee とは

What's Speee

いつだって未来を引きよせてきたのは
新たな価値を創造してきた者たちである



— Industrial Revolution —

ジェームズ・ワットが 完成させた蒸気機関は、 産業に革命を起こした

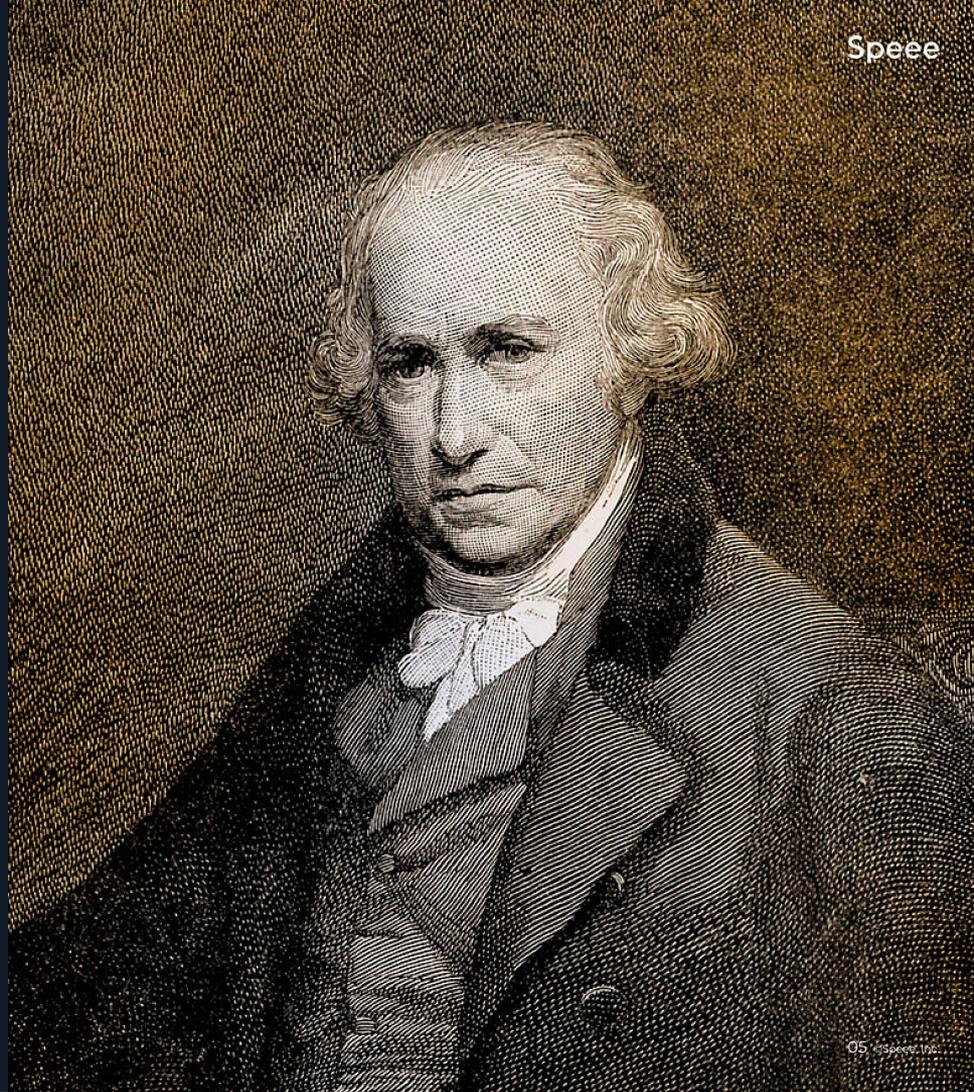
蒸気機関が発明されるまで、人々は自然や動物の力に頼ることでしか、エネルギーを生み出すことができなかった。それはあくまでも足し算の世界。

しかし、新たな技術や知識を組み合わせ、
今までにない方法で人々はエネルギーを生み出した。

蒸気機関の登場だ。

足し算ではなく掛け算によって生み出される遥かに大きなエネルギー。

もし、蒸気機関が発明されていなければ、
今あるものすべての開発が何十年と遅れていたかも知れない。





— information revolution —

スティーブ・ジョブズは 誰でも簡単に情報に触れられる 環境を生み出した

スティーブ・ジョブズは2007年に、iPhoneを発表した。

それは人々の手元に取まるデバイスの中にコンピューターを搭載するという仕組みであった。

この仕組みの開発によって、従来のコンピューターよりはるかに高速で安価に、いつでも、どこでも、誰でも世界中の情報にアクセスできる世界に変化した。

そして、イノベーションは急速に連鎖して、周辺領域の進化を加速させる。

もし、スティーブ・ジョブズがiPhoneを発表するのが2年遅れていたら、

現在世界中を覆っている先端領域は、まだ世の中に普及していなかったかも知れない。



戦略性・先見性を持ち
思考と行動を絡め課題を解き尽くす

急進性を持ち
あるべき未来を引きよせる



「未来」を読み解き、「今」を解く。

今ある課題を解き尽くしながら、理想の未来を、適切な方法で、適切な時間軸で、今に引きよせる。



Our Mission

解き尽くす。未来を引きよせる。



「解き尽くす。未来を引きよせる。」というMissionを実現するために、 私たちのこだわる8つの想いをVisionに設定しています

事業を開発する、という事業。

Speeeの事業とは何か。それは、事業を開発し続けることだ。テクノロジーを活かしながら、既存のビジネスを柔軟に組み合わせて、新しいサービスを次々と生み出す。新しい価値を提供し続けていく。「開発」ではなく、「開発し続ける」ことにこそ、大きな意味がある。

新しい市場を創り、 新しい日常を創る。

世の中に潜む課題を掘り起こし、多くの人々に「これが欲しかった」と思わせる事業やサービスを生む。やがてそれは市場を形成し、産業の創造へとつながっていく。その先に、人々の新しいライフスタイルがある。

波紋を仕掛ける。

Speeeは、社会に波紋を起す。ただし、運を天に任せるのではなく。事業やサービスがどのように波及していくのか、普通ではない進捗で粘り強く思考を重ね、波紋を「仕掛けて」いく。

解決法はデータに潜む。

データは解釈されなければ、ただの情報にすぎない。努力と苦勞を惜しむことなく膨大なデータを集め、正しく深い解釈を加えてはじめて、シャープなアウトプットを導き出すことができる。

「急進」こそ、価値だ。

時間をかければ、誰でも何かしら成果を出せるだろう。しかし、社会は待ってくれない。他の誰かが10年かかることを、1年でも早く。変革は、一気に進めることに真の価値がある。Speeeは、意志決定、アウトプット、自身の成長、あらゆるもののスピードにこだわり続ける。

未来の解像度を高める。

今、何をやるべきか。この先、どこへ進むのか。クリアに見えていなければ、クリアなアクションにはつながらない。未来の解像度が、社会を前進させるスピードを決める。

深度と領域。

Speeeには、様々な分野のスペシャリストがいる。深い洞察力と知見を備え、物事を俯瞰で捉えることができるジェネラリストがいる。彼らの強みを総動員し、強みを拡張する。すべては、より深く、より広い領域での解決法を生み出していくために。

「解く」の連鎖で、 より大きな解決を。

先人たちがつないできたバトンの先に、今の社会があるように。小さなことでもいい。成果を積み重ねていくことが重要だ。事業が事業を生む。解決が解決を生む。その連鎖で、より大きな課題に立ち向かい、未来を引きよせる。



Speee の事業

Business

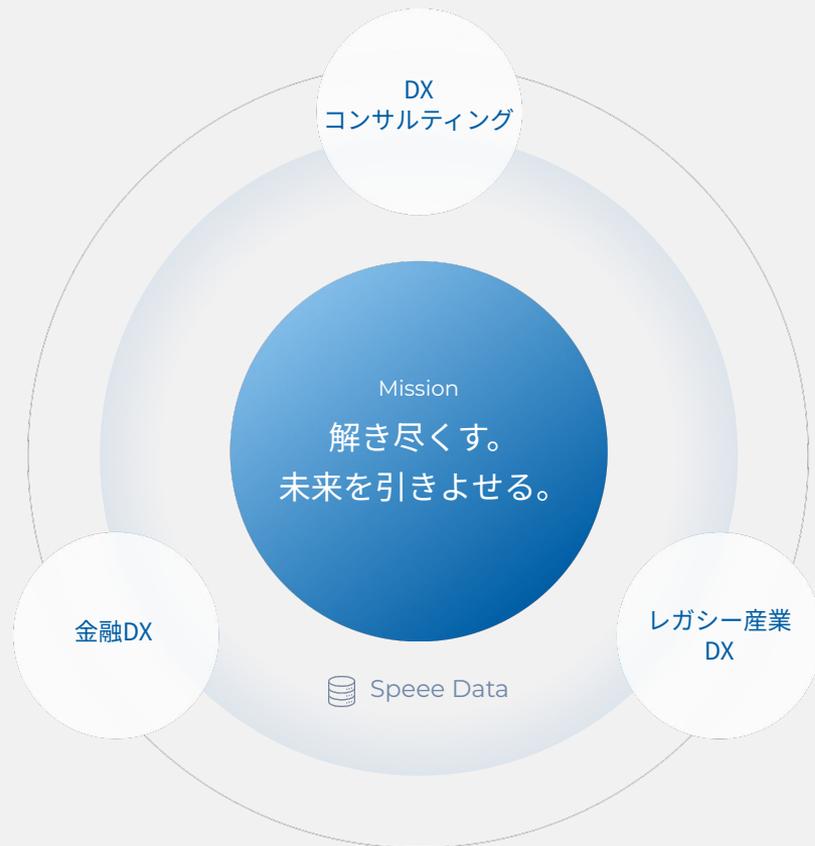


私たちのすべての事業は、 Missionを実現するために開発し、 社会に価値を届け続けています

DXコンサルティング DXコンサルティングによる総合支援
マーケティングを基盤としたDXで、データに基づいた戦略と継続的な改善を行い、クライアントの企業・事業成長を支援

レガシー産業DX レガシー産業DX事業の連続立ち上げ
自らがプレイヤーとなり、ユーザーと企業の内部プロセスの両面に踏み込み、社会課題の大きな領域で連続的に産業DXを推進

金融DX ブロックチェーンによる金融領域のDX
ステーブルコインを用いた国際送金ソリューションと、クロスチェーンブリッジという2つの事業をグローバル規模で展開



具体的には、社会に潜在する課題を抽出し、企業・業界を変革する事業を開発しています

新規事業開発

戦略性・先見性を持った事業開発



今起きている課題を解決する事業開発

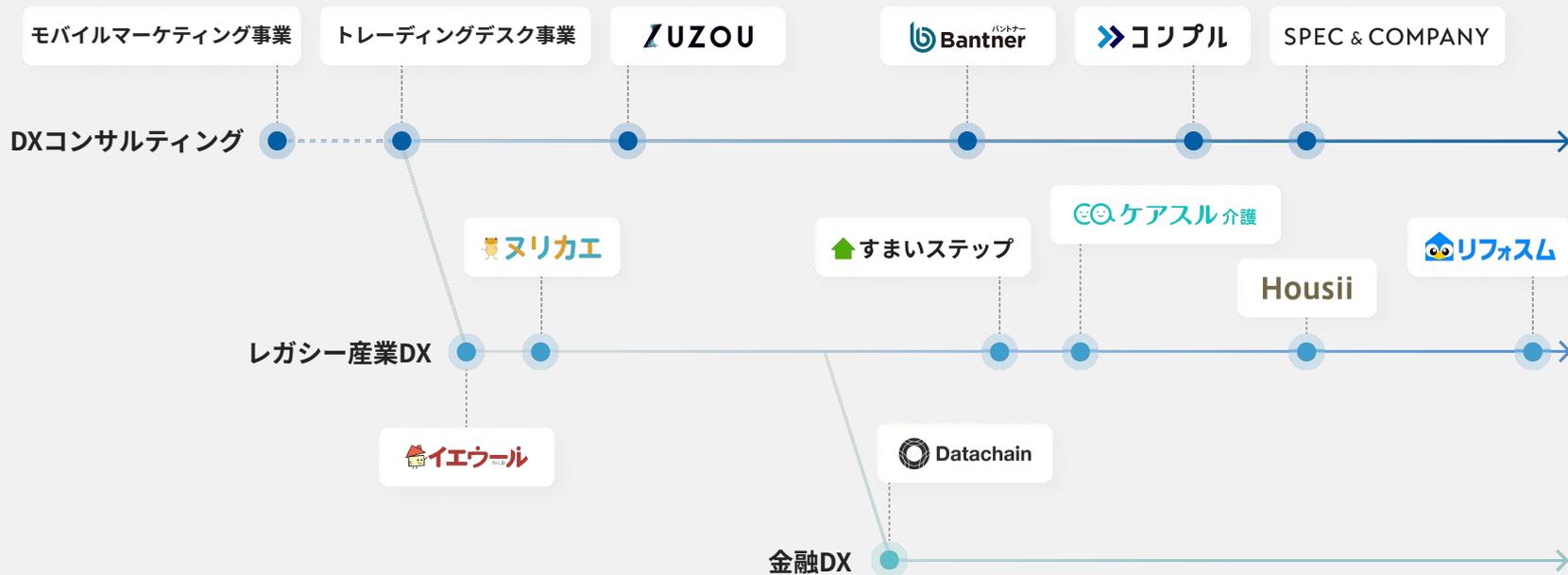


企業変革・成長支援

クライアントのビジネスや企業の成長を支援し、変革を起こすことで事業ステージを引き上げる



私たちの事業は、祖業である「DXコンサルティング」から始まり「レガシー産業DX」「金融DX」と連続的に事業を開発し続けてきました



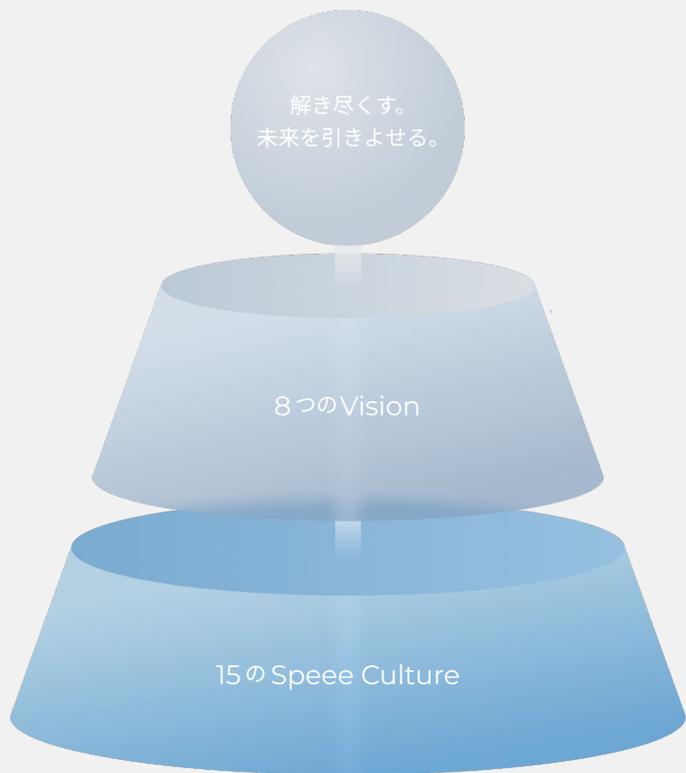
Speee の文化

Culture



Missionを実現できるかどうかは
どのような組織でどのような人がいるかに
かかっていると考えています





どんなに素晴らしい事業を立ち上げて、実行するのは人であり、組織です。良いサービスを生み出し、事業の成長を実現できる強い組織であるために、私たちは共通の価値観として、「Speee Culture」を設定しています。

「Speeeを形成する15の約束」

Speee Cultureは事業や組織、個人の成長においてあるべき姿を言語化したものです。また、企業成長や個人成長の方針を決める上での行動指針にもなっており、創業2期目から受け継がれています。

Speee Cultureには15個の項目があり、カテゴリはありません。それぞれが大切にされており、「解き尽くす。未来を引きよせる。」というMissionを実現し、より事業を拡大していくための強い組織作りの軸ともいえるのがSpeee Cultureです。

Speeeを形成する15の約束

01 | 組織成長への貢献

付加価値創造のための役割分担が、組織の本質である。私たちは、共通の目標である組織成長への貢献を軸に持ちパフォーマンスを最大化できる集団である。

02 | 本質の見極め

表面的な調整は、形を変えるだけで、問題解決には至らない。私たちは、常に多面的に物事を捉える思考力を養うことで、目指すべきゴールに向かう為の本質的な行動がとれる組織である。

03 | スピード&クオリティ

期日の死守と期待成果の高立にこだわる。両方を高次元で達成させようとする組織こそ成長する企業の条件である。

04 | プラステクノロジー

テクノロジーは成果を飛躍的に伸ばす。私たちは技術発想を根幹にモチ、技術を活かして大きな効率化・創造をもたらす集団である。

05 | 他部署への尊重、感謝

他部署の存在のおかげで、自部署の業務が成り立つ。私たちは得られる情報や経験の差を認識し、理解を深め、協力しあえる組織である。

06 | 期待+α

期待されているレベルを超えた成果は、当事者意識によって創出され、成果者の成長を加速させる。私たちは、常に期待以上の価値を提供する意識を強く持っている。

07 | 脱・受け身

やらされる仕事からは高い成果は生まれにくい。自ら責任を取りに行く姿勢で仕事に挑むことによって、更なる成長機会を得られる。

08 | 他責の否定

複数要因が絡まない業務は減少はなく、他責に陥る要素は常にある。開眼に自責をするのではなく、責任の領域を広げようとしていく意識の高いメンバーに、大きな信頼が寄せられる。

09 | 法令とモラルの遵守

企業倫理への理解が希薄な企業に永続的な繁栄はない。一個人として社内外のルール厳守は当然とし、Speeeブランドに忠誠を誓い、社会に誇れる組織を形成しよう。

10 | Execution

プロフェッショナルは実行にこだわる。成否の分かれ道は、シンプルに完遂力に依存している。

11 | 創造のための効率化

限られた時間の中で成果を最大化するには、効率が先、創造が後である。創造まで成し遂げてこそ、真に価値あるアウトプットになる。

12 | 変化を楽しむ

激しく変わりゆく環境下で更なる成長を果らせるのは、企業成長につながる変化を楽しむ、また、それを主体的に起こす人材である。

13 | 素直・謙虚・率直

素直・謙虚・率直はひとりの人間として忘れてはならないスタンスである。永続的に成長していける人は仕事や人に正直で且つ客観的に自分を見つめられる。

14 | 迅速なリスク対応

ネガティブな報告こそスピーディーに吸いあがる組織は、リスク対応力が高い。私たちは全体最適を考え、リスク対応の感度が優れている組織である。

15 | 知的好奇心の探究

継続的な成長とはインプットとアウトプットの循環により実現される。良質なアウトプットの前提となるインプットのために、知的好奇心を開放しよう。



Cultureは行動指針として、社内の様々な制度や取り組みに活用しており、
全社員が日々の指針として活用し、常に意識されています

総会 / Speee Awards



際立った成果や活躍を見せた社員に対して、部門別MVP、新人賞、Culture賞などの賞を授与し、功績を称える場を設けています

NIPPO



業務内外を問わずフリーテーマで全社員が毎日NIPPOを投稿し、事業や職種の枠を越えた全社横断のコミュニケーションを促進しています

Culture発表



各部署ごとに行われるCulture発表では、発表者がCultureの解釈と体現している人を発表します。発表者は、発表するCultureについて再度深く考え、聞いている人たちは体現している人の姿勢を学び、賞賛する機会になっています。

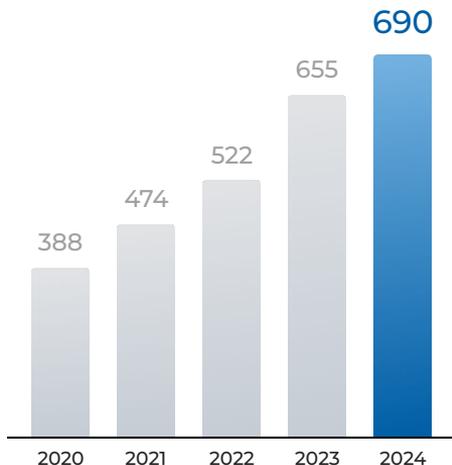
Speee の人

People



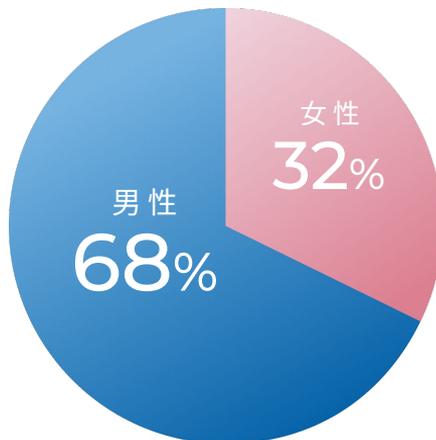
私たちは、継続して拡大を続ける会社でありながら
平均年齢29.7歳と若い力がそれぞれの役割を持って最前線で活躍しています

従業員数



※正社員、契約社員、パート、アルバイトを含みます。

男女比



年齢分布

29.7 歳

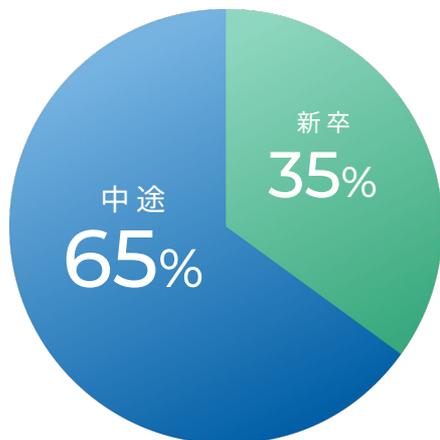
職種数

52 職種



スタートアップから大企業まで、様々なバックグラウンドを持つ中途入社者が集まり、切磋琢磨しながら仕事に取り組んでいます

中途入社者比率



中途入社者のバックグラウンド

IT関連

IT企業 デジタルマーケティング
AI系企業 ネット広告 EC
Fintech SaaS系企業
不動産Tech etc...

その他業界・成長支援

コンサル アパレル
ベンチャーキャピタル メーカー
金融 商社
人材 デベロッパー インフラ
旅行代理店 etc...



01

Interview / リフォームDX事業部 千島 卓巳

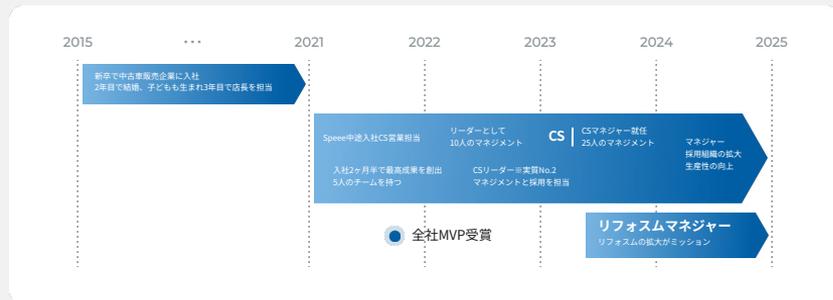
成果から逃げずに愚直に向き合い、 キャリアを一気に駆け上がる

リフォームDX事業部のカスタマーサクセスとして、ユーザーとの対話力や構造的な思考力を活かし、お客様の課題解決に取り組むことで、高い顧客満足度を実現してきました。

結果、入社して3ヶ月で最高水準の目標を達成し、チームリーダーとして5人のマネジメントを任せられました。入社3年目には、マネージャーとしてCS全体の採用から育成まで幅広く担うようになりました。

Speeeは、目の前の業務に集中し正しく成果を出すことで、年次関係なく適切に評価され、次のステップを任せてもらえる環境です。

私も目の前の仕事に愚直に向き合いながら、上司の業務を少しずつ奪って責任領域を拡大した結果、新しい役割を次々と任せてもらえるようになり、キャリアアップを実現しています。



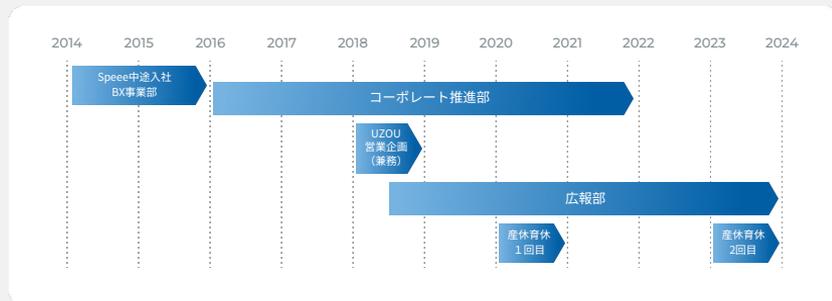
Interview / 広報部 八隅 純子

キャリアとライフスタイルを両立できる Speeeの働き方

新卒から一貫してクライアントの課題解決に取り組んでいました。そのなかで組織運営に興味を持ち、コーポレート部門を希望、異動しました。イベントPMや制度設計などの企画・実行しながら、新規事業の営業企画にも従事し、自分は周囲を巻き込んで業務を推進するのが得意だと気づき、全社広報へとキャリアを広げました。オウンドメディアの立ち上げ、10以上の事業広報、採

用広報からIRまで、本当に多彩な業務に当たっています。

現在は子どもの送迎などを考慮してリモートと出社を組み合わせて働いています。一人ひとりのチャレンジを尊重し、制度だけでなくライフステージに合わせた働き方も柔軟に相談できるSpeeeだからこそ、キャリアを諦めずに日々仕事に取り組んでいます。





Speeeの制度・環境

Environment

私たちは、社員一人ひとりの「持続可能な成長」を実現するための制度を整えています

人事制度

■ 等級制度

全社共通の指標を設定し各等級に求められる期待役割を明文化しています

★ 評価制度

変化のスピードが早いWeb業界で適正な評価を行えるよう四半期に一回、目標設定と面談を行い総合的な観点から評価を行います

¥ 報酬制度

期待役割である等級（グレード）と等級ごとに求められる期待を表したジョブサイズを元に評価が決められ、報酬に反映されます

社内制度

事業経営をし続けるための仕組み

Speeeのコアとなる事業経営をし続けるための仕組み

事業経営ができる組織づくりの仕組み

組織を構成する文化や人を育てていくための仕組み

福利厚生

🎓 スタディサポート

💙 ライフサポート

👨‍👩‍👧 ファミリーサポート

💬 コミュニケーションサポート



Speeeは会社全体として人事評価を行っています。 ただ単に査定するだけでなく人材育成の評価という思想を共通に持ち、実施しています

全社として各人の期待役割をグレードと言う形で定義し、人事評価に活用しています

【M】Management

評価部下を持つマネジメント役割を担い、
チームで結果を出し、事業と組織に貢献する

M3	P3	S3
M2	P2	S2
M1	P1	S1

【P】Professional 【S】Specialist

自身の職種において、プロとしての
成果を出し、事業と組織に貢献する

G1~G3

与えられた役割を能動的に完遂し
事業と組織に貢献する

G6
G5
G4
G3
G2
G1

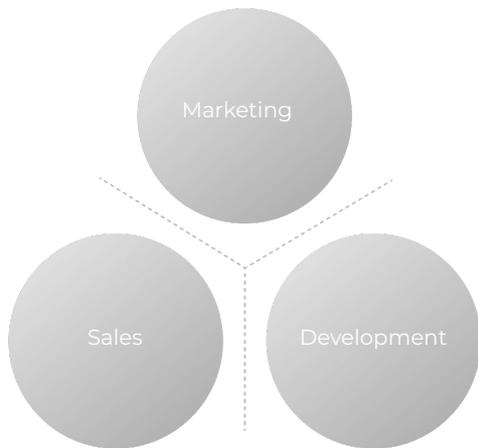
G4~G6

自身の役割に対して、
目標設定やプロセス構築ができ、
チームやプロジェクトを牽引。
事業と組織に貢献する。



Speeeのキャリアは専門性も大切にしながら、固定された役割だけではなく、
自分自身の強みを軸にしながら様々な場所で活躍できる環境があります

専門性を重視したキャリア



各部署役割や職種が定まりそれぞれの役割の中で期待されている
パフォーマンスを発揮する



専門性にこだわらないキャリア



変化が早く大きいため、柔軟に対応できる役割を超えた
視点や裁量権を持って自ら考え動くことが求められる

Speee



Speeeのオフィスには創造性を高めるために、コミュニケーションを促進する場所を設計し、社員同士のオープンな交流を創り出しています



Speee Lounge

コンセプトは「トランザクティブメモリー」。事業部や職種の枠を越えて、活発なコミュニケーションを誘発し、Speeeの「知の集積」を増やすことを目的としたスペースです。ミーティングや休憩はもちろん、イベントの開催など、多様な使い方が可能。様々な知の共有スペースとして、社内外の人たちによるオープンな交流を生み出しています。



事業創造し続けていくために、知を蓄積できる場所と、 それぞれの知を共有し磨き上げる場所をオフィス内に配置しています



Speee Library

Speeeでは、毎月一万円分の書籍を購入できる社内制度を設けています。購入した書籍はすべてライブラリーに「Speeeの知」として貯蔵され、自由に読むことが可能。5,000冊を超える蔵書は、自社システムで管理され、貸出数ランキングや読後レビューなどが閲覧できます。書籍をベースにしたディスカッションなども活発に行われています。

Meeting Room

様々なアイデアが交わされ、新しい事業創造の手がかりが次々と生まれてくる会議室。クリエイティブなディスカッションに集中できる環境づくりをめざし、機能性と美しさにこだわって設計しました。

